

事務事業名		ファミリー・サポート・センター事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	15 子育て支援の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 地域における支援体制の整備				01	03	02	01	15
根拠法令		次世代育成支援対策推進法		<input type="checkbox"/> 単年度のみ						
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 21 年度～)						
	係名	児童家庭係	電話	27-3111	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】					
			内線	183	年度～ 年度					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ファミリー・サポート・センター(地域における子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる組織)を設立し、相互援助活動等を実施する。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
				総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金				
						都道府県支出金				
						地方債				
						その他				
						一般財源				
						事業費計(A)		0		
				人 件 費	正規職員従事人数					
					延べ業務時間					
					人件費計(B)		0			
				トータルコスト(A)+(B)			0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 震災後9月から事業を再開し、事業の周知、会員の募集、預かり会員の研修等を経て会員同士の援助の調整を行った。		単位	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) さらに事業を周知するとともに、会員同士の相互援助活動を支援する。		ア	会員数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 児童を養育している家庭の保護者及びその児童		イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域での相互援助活動を支援することによって、子育てしやすい環境を整備する。		ウ	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 近年の核家族化や地域社会における子どもの養育機能の低下が進んでいる状況に対応し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。		カ	小学校修了前までの児童数 人
		キ	
		ク	
		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	援助の件数 件
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	585	1,000	1,000	1,000	1,000
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	585	1,000	1,000	1,000	1,000
	事業費計(A)		千円	1,170	2,000	2,000	2,000	2,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	95	160	160	160	160
		人件費計(B)	千円	380	640	640	640	640
		トータルコスト(A)+(B)		千円	1,550	2,640	2,640	2,640
⑤ 活動指標		ア	人	131	146	150	150	
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	人	4254	3870	4254	4254	
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	件	113	205	150	150	
		シ						
		ス						

事務事業ID	1374	事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成17年の次世代育成支援対策推進法の制定により、各市町村に次世代育成支援行動計画の策定が義務付けられた。当該事業は、地域のニーズに合わせた計画の中に盛り込むべきとされた保育サービス事業のひとつで、平成20年度に実施した市のニーズ調査でも、特に援助を必要としている人の割合が多かったことから、市次世代育成支援行動計画の前期計画で21年度から実施することに修正された。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の連携も薄れ、子育てに不安を抱えて孤立する家庭が増加している。地域での相互援助活動を支援することによって、子育てしやすい環境を整備できる。 ・24年度までは子育て支援交付金運営要領 ・25年度は安心こども基金運営要領
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特に無し

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 子育て支援策として有効である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国の行動計画策定指針で実施主体を市町村と規定しており、大船渡市次世代育成支援地域行動計画にも盛り込まれているので、市が行う。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 就学前児童をもつ保護者を対象とした事業であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 今後、利用者が増えることが見込まれるため、市民への周知徹底させる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 子育てに対するニーズが多様化するなかで、保育サービスの選択肢が減ることになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 今後の利用状況や国の動向を見極めていく必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 国の補助基準に基づいている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 市では契約など最低限の業務のみ行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 利用者負担金は実施要綱で定められており、適正に運用されている。

事務事業ID	1374	事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) さらに事業の周知を図って、会員数を増やすようにしたい。																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後も引き続き事業を実施する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	地域福祉課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 多様な子育てニーズに対応するための施策であり、今後も、市民への周知を含め継続して実施する必要がある。 なお、預けたい会員と預かる会員との調整が伴うことから、申し込みから実際に預けられるまである程度時間がかかることが今後の検討課題。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
